



平成29年度 市長施政方針

夢うまれ、

夢かなうまちへ



実感できる景気回復を

2月13日に内閣府が発表した、平成28年10月から12月期までの国内総生産速報値は、実質、前期比0.2割増と4期連続のプラス成長となりました。しかし、わが国の成長を支える個人消費はまだまだ低迷を続け、今期においては4期ぶりにマイナスへと転じています。アメリカのトランプ新大統領の就任など、世界の社会経済情勢が大きく変化している今、「外需頼み」の経済から脱却し、国内での消費・生産を高め、内需を拡大していかなければ、目に見える、実感できる景気回復を望むことはできません。

「人口減少社会」という言葉が定着し、未来への明るいビジョンが描きづらい時代を迎えたわが国では、安定した生活のもとで一人一人が夢を持ち、良好な雇用・所得環境を保ちながら消費を拡大させていくことこそが、景気回復への最も確実な道であると確信しています。そのためには、経済の土台

となる地方がしっかりとしまちづくりに取り組み、目先だけの施策ではなく、未来を見据えた、長期的な視野に立った戦略が必要となります。

人づくりはまちづくり

「米百俵で未来を創った男」として知られる小林虎三郎は、戊辰戦争で困窮した長岡藩にお見舞いとして届いた米百俵を使い、「国が興るのも、街が栄えるのも、ことごとく人にある。食えないからこそ、学校を建てて人材を育てるのだ」と周囲の猛反対を押し切り、学校を建設しました。やがては、この学校で学んだ多くの有為な人材により、長岡は復興を遂げたばかりではなく、日本をも動かす多くの人物を輩出することとなります。

現在、「住みたいまち」に求めるキーワードとして、多くの人が「医療」「交通」、そして「教育」の充実を挙げています。福祉の向上、暮らしやすいまちづくりの推進は当然のことですが、未来を担う人材を

平成29年度の主な事業

※新規・拡充した事業を中心に掲載しています。

1 安心して子育てできる環境を整備

保育サービスの向上、保育士の確保	947万円
病児・病後児保育室の新設を支援	1,706万円
つくし学園通園バスの乗車時間を短縮	675万円

2 安全・安心のまちづくりを強化

耐震化・リニューアルを終え文化センターがオープン!	23億2,475万円
住宅密集地における安全・安心のまちづくり	57万円
道路照明灯をLED化	3億7,520万円
総合治水計画を策定	632万円
西宮下中妻線用地買収に着手	3億4,558万円

3 健やかに育つことができるまちづくり

新図書館複合施設を整備	1億5,456万円
小・中学校就学援助費を拡充	734万円
大石南小学校に放課後児童クラブを整備	4,654万円
ひとり親家庭・生活困窮者等への学習支援	1,592万円

4 誰もがいきいき 魅力満載・便利なあげおへ

定住促進! あげおの魅力をPR	131万円
(仮)戸崎東部公園を整備	6億6,331万円
4月1日開始! 住民票などのコンビニ交付	899万円
認知症施策・介護予防事業を拡充	3,236万円
新たに不妊検査費用を助成	330万円



育てる教育を充実させ、これらをバランス良く底上げしていくことが、上尾市、ひいては日本の未来に希望をつなげていくことにほかなりません。私は、虎三郎の精神でもある「人づくりはまちづくり」という信念に立ち返り、日々の暮らしの充実はもちろん、未来を担う人も育てるさまざまな施策を積極的に実施していく覚悟です。

夢うまれ、 夢かなうまちへ

私たちの住む日本は、戦後の高度経済成長期を経て、とても豊かな国へと成長しました。しかし、豊かさを手に入れた一方で、言葉や心、そして夢をも失いかけていくといわれています。このような時こそ、夢を持つきっかけ、そしてそれをかたちにする役割を行政が担うことが、先行き

の見えない現状を乗り越えるための大きな力になるのではないのでしょうか。今後も、しっかりとした財政基盤の上で、より良い市民サービスを提供しながら、20年、30年先を見据えたまちづくりを實行していくことで、おのずと人は、そのまちを選んでいくと確信しています。市民の皆さんの暮らしと笑顔をしっかりと守りながら、多くの人を選ばれる「夢うまれ、夢かなうまち」を目指し、全力を傾注してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

